

質 問 回 答 書

件 名		
中原保育園改築設計業務委託プロポーザル		
No.	質 問 事 項	回 答 事 項
1	・寸法の入った敷地測量図はございますでしょうか、またデータを戴けますでしょうか。	・設計の際に、寸法の入った敷地測量図のデータをお渡します。
2	・昨年の同プロポーザルで提示されました、諸元整理票は今年はないのでしょうか。	・整備対象施設の概要につきましては、「中原保育園改築設計業務委託プロポーザル補足資料」の4.(2)をご参照ください。なお、昨年度実施しました、「(仮称)川崎市生田・生田乳児保育園改築設計業務委託プロポーザル」で提示しました諸元整理表につきましては、今回は作成しておりません。
3	・プロポーザル説明書、P4 10 技術提案書の作成及び提出 (1) 作成要領 P5 ウ(3)に記載の5項目の限度とは、◆の7項目のうち5項目か、あるいは◆の7項目のそれぞれに対して5項目なのか、どちらでしょうか。	・提案項目につきましては、「中原保育園改築設計業務委託プロポーザル説明書」のp5ウ③及びp9(別紙2)の表1に記載しています、提案事項の◆の7項目全てに対して、5項目を限度にご提案ください。 なお、◆の7項目に対して提案項目の記載がない場合は、評価点が加算されません。
4	・ページ5 ウー③アンダーラインに記載の「5項目までを限度とする」とは、別紙2の表1「提案事項と評価の配分」に記載された課題に対する提案(7つの◆の項目)の中から5項目を限度として選ぶということでしょうか。 又は◆の項目(7つ)ごとの内容記載を5項目までを限度とするということでしょうか。	
5	・遊戯室は、地域開放されるのでしょうか、ゾーニングイメージには遊戯室がありませんが、「支援・研修」の中に入っていると考えるとよろしいでしょうか。また、遊戯室と支援スペースの使い分けを教えてくださいませんか。	・遊戯室は研修室と兼ねますので、「中原保育園改築設計業務委託プロポーザル説明書」のp12に記載しているゾーニングイメージでは「支援・研修」の中に入ることとなります。また、遊戯室兼研修室と支援スペースを一体で利用する場合も想定していますので、2室を一体利用できる計画としてください。 ・ゾーニングイメージの「支援・研修」部分は、保育所及び市が開催する事業や研修で使用し、地域の親子や他の保育所の職員が来訪します。
6	・地域子育て支援スペースと保育で兼用できる部屋はないのでしょうか。(例えば遊戯室等) ・ゾーニングイメージでは入口及びエントランスは別々になっていますが、管理はまとめられています。運営管理セキュリティはどのようにお考えでしょうか。	・遊戯室兼研修室及び支援スペースを保育で利用する可能性もありますので、エントランスは別となりますが、建物内では行き来できる計画としてください。 ・セキュリティについては、保育は事務室、地域子育て支援スペースは総合事務室で管理する予定です。
7	・道路側には子育て支援、敷地奥に保育所となっている意味はありますか。	・保育と地域子育てスペースのどちらかを道路側に配置する等の条件はありませんが、保育所と地域子育て支援スペースの区画は道路からのアプローチも含め別にしてください。その上で効率性・機能性の高い施設となるような諸室の配置・動線計画を行ってください。

8	<p>・全体形状が既存と近いのは、近隣等に対する配慮からでしょうか。また、保育部分は、既存では平屋になっていますが、近隣等の配慮は問題ないでしょうか。</p>	<p>・既存より規模が大きくなるため、2階にも保育室を設ける計画となりますが、近隣等に対する影響を考慮し、既存に近い形状としています。</p>
9	<p>・中原保育園改築設計業務委託プロポーザル説明書7参加資格要件(1)応募者の資格要件エ(ア)の構造が「木造」とありますが、混構造(例として、鉄筋コンクリート造で一部木造)も含まれると考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>・混構造であっても、木造部分が延べ面積50㎡以上で「非住宅」(倉庫、車庫等を除く)となる場合は、実績の対象とします。</p>
10	<p>・プロポーザル説明書の【4 選定方針】に、【設計者の特定は、「企業の業務実績」及び「課題に対する提案」の評価により行います。】と、記載されていますが、「企業の業務実績」と「課題に対する提案」の評価比率はどの程度なのでしょうか？同類施設の実績が無い設計事務所にも開かれたプロポーザルであれば参加したいと思います。実績重視であれば、同類施設の実績が無い設計事務所には、提案しても勝ち目の無いプロポーザルになります。より開かれたプロポーザルである事を期待しております。</p>	<p>・1次審査の「企業の業務実績等」と2次審査の「課題に対する提案」の評価比率は、「企業の業務実績等」を3割程度、「課題に対する提案」を7割程度とし、課題に対する提案に比重を置いて評価を行います。</p>